

## ■ F5J 大会 KMA ローカルルール (2020.5.10 版)

黄色部分がローカルルール、太字は注意点 (FAI ルール)

### 5.5.10.4.

#### 安全規定

- a) コンテストディレクターによって決められたセーフティーエリアに**着陸した場合は最終スコア(ラウンドスコアではない)から100点を減点する。**
- b) **許可された飛行エリア外を飛行してはいけない。許可された飛行エリア外を飛行した場合は、そのフライトを0点とする。**

### 5.5.10.5. コンテストフライト

- a) 競技者は各フライトで一度だけ発航が許される。
- b) 機体が競技者または助手の**手を離れた瞬間に一回のフライトとみなす。**

### 5.5.10.6. リフライト

- a) 競技者は次のようなときにリフライトを認められる。
- b) 飛行中または発航中に他の競技者の機体に衝突した場合**のリフライトは認められない。**
- c) **ジャッジに起因して計測が正しく行われなかった場合。**
- d) 新しい作業時間設定の優先順位は以下の順で決められる。
  1. 6名以下のグループに入れる、6名以上のグループに加える。
  2. もし1. の状況でも無理な場合は元のグループで、すべてのグループの飛行終了後に再飛行を行う。
  2. 2. の状態でリフライトを行った場合オリジナルのラウンドとリフライトのラウンドの良いほうの成績がオフィシャルスコアになる。(原因になった競技者を除く)

### 5.5.10.7. フライトの無効及び失格

- a) 飛行中に機体の一部が落下した場合、その飛行は無効となり得点は0点とする。ただしそれが他の機体との衝突による場合は例外とする。
- b) 着陸時、地面にふれたことによるにパーツの落下は例外とし許される。
- d) 着陸時、**指定エリア以外に着陸した場合は0点とする。**

### 5.5.10.8.2. グループでの飛行

- a) グループ内の個々の競技者の作業時間は10分とする。

### 5.5.10.10. 発航

- a) 発航は決められたポイントから4m以内の範囲から風上に向かって行う。もしこれ以外の範囲から発航した場合その飛行は無効となり0点となる。 **発航はモーターが回っている状態から手投げでスタ**

ートする。これ以外の方法による発 航は認めない。

b) 無風または風向きが特定できないときの着陸アプローチはコンテストディレクターが決める。それ以外の方向からのアプローチは認めない。

c) もしグループの作業時間が始まる前に発航した場合、その飛行は無効となり0点とする。

d) ズーミングは認めない。ここでのズーミングとはモーター停止後、高度が記録された後にスピードの慣性力を高度に変換し、さらに高い高度をとること。コンテストディレクターまたはタイムキーパーによりモーター停止後10秒以降にズーミングを行ったと判断した場合は、**その飛行は0点とする**

#### 5.5.10.12. 得点

5.5.10.12.1. 競技は機体が競技者または助手の手を離れた瞬間からスタートし以下の状況の時に終了する。

a) 機体が**地面にふれた瞬間**。

b) 機体が地面にある木々、草、物体などにふれた瞬間。

c) そのグループの**作業時間の終了時**。

#### 5.5.10.12.2. 計測方法

a) 飛行時間の**秒数は端数を切り捨てる**。

b) 作業時間内の飛行時間1秒につき1点を与える。最高は600点（10分MAX）とする。

c) 得点計算に使用するスタート高度は、F5J専用記録装置に記録された高度とする。

d) **高度は1メートル（m）単位で端数は切り捨てる**。

e) スタート高度の減点は200mまでは1mにつき0.5点 200m以上は1mにつき3点の減点とする。

5.5.10.12.3. 作業時間を1分以上過ぎて着陸した場合その飛行の得点は0点とする。

5.5.10.12.4. 着陸ボーナス点は着陸スポットからの距離により以下のように与えられる。

距離（m） 得点

1m以内 50点、2m 45点、3m 40点、4m 35点、5m 30点、6m 25点

7m 20点、8m 15点、9m 10点、10m 5点、10m以上 0点

5.5.10.12.5. 着陸距離は着陸後静止した機体のノーズ先端から指定された着陸スポットまでの距離とする。

5.5.10.12.6. 着陸時に機体が競技者、または助手にふれた場合、着陸ボーナス点は付かない。

5.5.10.12.7. 作業時間を超えてから着陸した場合にも着陸ボーナス点は与えない。